ボーリング柱状図

調　査　名　平成28年度 その他河川 東川 通常砂防事業に伴う業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No．5	調査位置	広島県豊田郡大崎上島町木江			北緯	34° 14’ 26.4811″
発注機関	広島県西部建設事務所 東広島支所			調査期間	平成 29年 2月 6日 ～ 29年 2月 9日	東経	132° 54’ 49.3283″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	61.28m	角度	180° 上 下 90° 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 16°	使用機種	試錐機	D1-B48（東邦地下）	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	6.00m								エンジン	NFD-13（ヤンマー）	ポンプ	BG-3C（東邦地下）

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1									
2	58.93	2.35	2.35		礫混じり粘土	暗黄褐～暗褐		中位～硬	表層10cm仕植物根含む。 崖錐堆積物 含水中位，粘性中位。
	58.33	0.60	2.95		玉石混じり粘土	暗黄褐			φ10cm程度の角礫を混入。 礫種は周辺山体を構成する粘板岩。
3									
4					風化粘板岩、軟岩I	暗褐～暗灰	極密		粘板岩の風化帯。 芯部まで風化が進み土砂化が著しい。 砂質土～軟質岩片状で採取される。 DM級，軟岩I
5	56.07	2.26	5.21						
	55.28	0.79	6.00		粘板岩軟岩、I	黒灰			コア長L=5cm程度の岩片～短棒状で採取される。 コアはやや軟質で脆い CL級，軟岩I
6									
7									
8									
9									

孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値	原位置試験 深度(m)	試験名および結果	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
2.90 2/9 0.41	1.15	2/12	2	2/8	6/30	6							2/7
	1.45												
	2.15	3	4	5	12/30	12							
	2.45												
	3.15	14	15	10	39/30	39							
	3.45												
	4.05	15	23	12/4	50/24	82.5							
	4.29												
	5.05	21	29/6		50/16	93.8							2/8
	5.21	貫入不能			50/0								2/9
	6.00												